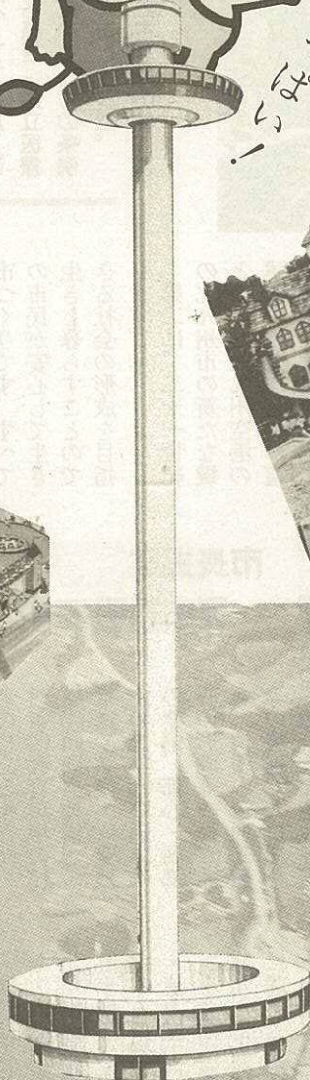
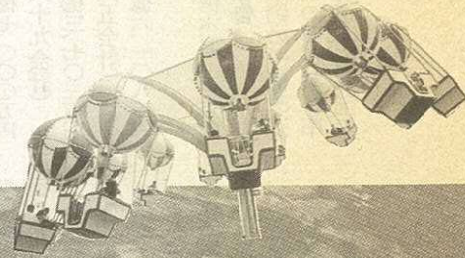


六月定例会開かれる

平成三年六月北九州市議会定例会は、六月三日から二十六日までの二十四日間の会期で開かれました。市長から提案された平成三年度当初予算など六十四件をすべて可決したほか、議員から提出された「雲仙・普賢岳噴火、火砕流災害の救援に関する決議」ほか三件を可決しました。



会期 平成3年9月14日(土) ▶ 11月11日(月)

グリーンルネッサンス北九州'91

メイン会場・若松区響灘緑地 / サブ会場・小倉北区勝山公園

緑化
フェア

高齢化社会モデル都市づくりを推進

平成3年度当初予算^{総額}9,076億円を可決

6月定例会

雲仙災害の救援を決議



この定例会では、本月初の九千億円台規模となつた平成三年度予算を可決したほか、スポーツ振興基金、文化振興基金設置のための条例新設や新装オープンした「市立小倉病院」の名称を「市立医療センター」に変更するための条例改正議案などを可決しました。なお、決まつた主なものは、次のとおりです。

二期目の

市政執行に当たり

二期目の市政執行に当たり、特に重点を置きたいのは、第一は、高齢化社会のモデル都市づくりです。すべての市民が安心して生き生きと暮らすことのできる社会の形成を目指します。

市長提案

理由説明(要旨)

ス構想の着実な推進に向けて「健やかな暮らし、うるおいと活力に満ちたまちづくり」を進めるため、①高齢化社会のモデル都市づくり②男女共同参画型の社会づくりや障害者の自立と生きがい対策③教育環境の充実④頭脳立地構想の推進や学術・研究機能の充実⑤交通体系の整備、都心・副都心の形成等の拠点開発、情報・流通基盤等の整備⑥人口増を図るための総合的な定住促進策⑦観光関連施設の整備、「第八回全国都市緑化フェア」や東アジア六都市経済シンポジウムなど、人の集まるまちづくりの推進、などに取り組めます。



市長から 提出されたもの

◎平成3年度当初予算

- ・一般会計 四、三六八億七、〇〇〇万円
- ・特別会計(十九会計) 三、五二二億三、七〇三万円
- ・企業会計(五会計) 一、一八五億六、一〇八万円
- ・総額 九、〇七六億六、八二二万円
- ◎専決処分の報告
- 北九州市税条例の一部改正
- ・個人市民税の所得割税率適用区分の改正、均等割の

- 非課税限度額等の引上げ
- ・固定資産税の免税点引上げ
- ◎条例の新設
- 北九州市競輪競艇整備積立金条例
- 北九州市スポーツ振興基金条例
- 北九州市文化振興基金条例
- ◎条例の一部改正
- 北九州市税条例
- ・特別土地保有税に係る遊休土地に対する課税の創設(遊休土地転換利用促進地区

議員から 提出されたもの

- 北九州市議会委員会条例の一部改正
- 北九州市議会会議規則の一

人事紹介

六月定例会において、次のかたがたが決まりました。

- 市教育委員会委員 安武満榮
- 市人事委員会委員 清原雅彦
- 県公安委員会委員 福島公郎
- 市監査委員 中村昌雄、鹿田磨樹
- 市権擁護委員候補者 福田文祥、森山昌子、高向幹範、秋枝素子、吉原英之、西江隆之助、林治男、田中正弘、古賀美登子、篠原俊一
- 市固定資産評価審査委員会委員 有森隆繁、大森敏郎
- 直方市・北九州市岡森用水組合議会議員 本原義一、石田康高、藤高法文、久野壽、小水政夫、米田光夫

花と緑で囲まれた議場

6月定例会の議場に、コチウラン、シンビジウム、観葉植物などが飾られ、厳粛な議場も心なごむ雰囲気になりました。この花と緑の演出は、議員や事務局職員の発案によるもので、今秋、響灘緑地などで開催される全国都市緑化北九州フェアの気運を盛り上げるとともに、市民に親しまれる市議会づくりの一環として実施したものです。

質疑応答

本会議で、18人の議員が、議案や市政全般について質問を行いました。その中から、いくつかをとりあげました。



平成三年度予算の 特色は

議員 平成三年度予算は、初の九千億円の規模になっていますが、予算編成に当たっての基本的な考え方やその特色をお聞かせください。

市長 歳入面では、市税の伸びが前年度より低く、人口の減少による地方交付税の減収など、前年度に比べて良くない状況にあります。

しかし、本年度はルネッサンス構想第一次実施計画の三年目に当たり、取り組むべき課題も多いことから、財政調

整基金の取り崩しなどにより必要な財源を確保しました。その結果、一般会計の対前年度比は五・三％増と十年ぶりの高い伸び率となりました。

一般会計の特色としては、投資的経費を可能な限り伸ばしました。また、民生費は五十五年度以来九年ぶりの伸びを確保したほか、教育費でも小中学校の校舎改造やモルタルはく離対策の予算を組み、前年度比十三・二％と十二年ぶりの高い伸び率となりました。

今後とも、財政健全化に慎重に配慮し、ルネッサンス構想に定めた事業を確実に実施していきたいと考えています。

四年度中を目標に計画を策定したいと思っています。

計画策定に当たっては、福祉、保健、医療のしくみをどうするか、お年寄りが活躍できる環境づくり、さらに、お年



寄りに配慮した施策をどのように展開していくか、この三つの柱を基本に置いています。

また、人間性の尊重、自主自立の確保、社会連帯など地域にふさわしい福祉体制をつ

モノレール延伸の スケジュールは

議員 先日、北九州都市圏交通体系整備推進協議会において、モノレールの延伸ルートは、JR小倉駅への直進か駅東側への右折が妥当であるとの結論が出されました。そこで、JRなど関係者との協議や今後のスケジュールについてお尋ねします。

市長 延伸ルートは、駅前広場や南北通路など駅周辺の総合的な計画と併せて、JR九州をはじめ関係者と早急に協議していく考えです。この協議が整いつつ、モノレールの線形や構造物、駅舎の設計などを行い、国に対し、来年度の新規補助事業として採択されるよう要望していきたいと思っています。

都心・副都心の整備構想は

議員 三年度予算に、小倉都心部の都市基盤整備計画策定経費が計上されています。どのような構想を考えていますか。

一方、都心部のプロジェクトがめじろ押しであるのに対し、黒崎地区については、わずかに黒崎副都心構想の策定が予定されているにすぎませ

市議会議員の虚礼廃止

公職選挙法で、市議会議員の寄付は処罰をもって禁止されています。

- 議員・後援会の寄付（花輪、香典、祝儀などを含む）や有料あいさつ広告の禁止
 - 有権者の議員への寄付要求の禁止
 - 議員の年賀状、暑中見舞状等の禁止
- 市民の皆様のご理解をお願いします。



小倉駅前東地区
再開発ビルイメージ図

黒崎駅周辺

この調査では、地下利用の基本的な考え方や幹線・補助的幹線道路、バスターミナル駐車場、公園配置等都市基盤施設計画、計画実現化の基本方針など都心全体の土地利用構想をまとめる予定です。

そこで、本年度に本格的な調査を行い、交通軸や公共施設の配置問題等の構想を検討し、年度中にはそのたたき台をつくりたいと思っています。都市計画局長 小倉都心部の整備計画調査に当たっては、都心の区域として、西はJR日豊本線、南及び東は国道二号、北は海に囲まれた区域を考えています。

諮問機関の役割は

議員 市政執行上、有識者等の意見を聞くため、審議会など諮問機関を設置することは大切ですが、議会の意思を十分反映させることもまた重要です。

最近、諮問機関の答申が、執行機関の錦の御旗として機能している感を強くします。執行機関・諮問機関と議会の関係について、市長の考えをお聞かせ下さい。

市長 諮問機関は、市政執

空き缶ポイ捨て 防止対策は

議員 市内では、歩道や道路・中央分離帯の緑地、公園などに空き缶が散乱し、まちなぎの美観が損なわれています。そこで、子供の時から



行上重要な政策を決定する際職員が持たない専門知識など幅広い意見を学識経験者、専門家、関係機関の代表者等に

提言していただくためのもので、報告や答申という形で出てきます。その後、執行機関としての意思決定を行い、予算などの議案として議会に諮り、そこで政策が決定されることになっていきます。

執行機関としては、ご指摘のようなことがないよう努力しなければならぬのは当然と考えており、委員の選任や運用についても工夫していきたいと思っております。

環境教育の推進やデポジット制度導入、条例による規制など積極的な施策が必要と思えますがいかがですか。

市長 空き缶のポイ捨てについては、まず、ポイ捨てをなくす運動から、取り組んでいきたいと思っております。

環境局長 環境美化を促進するためには、幼児期からの環境教育が最も大切です。

そこで、幼稚園、保育園の五歳児を対象に啓発絵本を、小学校四年生を対象に副読本の配布や施設見学などを行っており、今後も一層力を入れていきたいと考えています。

なお、デポジット制度の導入や条例の制定については、今後も引き続き検討し、より効果的な空き缶散乱防止策を研究したいと思えます。

緑化フェアの準備状況は



建設中のテーマ館と回転昇降式展望塔

また、会場やアクセス道路は、既に本格的な工事に着手しており、開会前までにすべて完了する予定です。

なお、このフェアを通して、市民に緑の大切さを再認識していただくことは非常に大切です。フェア終了後も、テーマ館を都市緑化の拠点として利用していくとともに、本年「花咲く街かどづくり」事業をスタートさせ、緑化意識の高揚に努めていきます。

校舎のモルタルはく離 対策は

議員 昨年の小・中学校のモルタル落下事故以来、調査点検や危険箇所のはぎ落とし等が実施されましたが、ほとんどの学校は内外壁の補修工事が終わっていません。

市は、四年計画で外壁の改修を行うとのことですが、もつと改修期間を短縮できませんか。また、事故の再発防止のため、専門的な保全点検体制が必要と考えますがいかがですか。

教育長 改修については、既に十三校の大規模改修を実施し、緊急を要する十四校の部分補修を行いました。

三年度から四年計画で改修を行うこととし、はぎ落としの箇所に限定せず、外壁の全面的な改修を行う考えです。三年度は、外壁改修四十校、

内壁補修九十九校を予定しています。

改修計画に際しては、厳しい財政事情の中ではありますが、関係局と協議のうえ、建築業者の対応能力等を十分に勘案し、出来るだけ速やかに改修が進むよう配慮しました。全体の事業量が大いことから、現状では四年計画を短縮する考えはありませんが、実施に際しては、緊急性の高い学校から実施する考えです。

なお、児童生徒の安全確保のため、四年間の改修計画期間内においては、その年度に改修工事を実施しない学校について毎年一回専門業者による保全点検を行い、計画期間終了後は、三年ごとの保守点検等を実施する考えです。

消防ヘリコプターの導入計画は

議員 雲仙の大規模災害が発生しています。

本市でも、自然災害や都市型災害に対応するために、ヘリコプターの導入が急がれますが、今後の計画をお尋ねします。

消防局長 消防ヘリコプターは、離島からの救急患者の搬送、林野火災に対する空中消火、水難事故の捜索・救助交通事故での救助・救急活動等に大きな効果が期待できることや広報活動、市街地・港

雲仙災害に 議員が救援金

雲仙・普賢岳災害の被災者を救援するため、市議会の全議員が救援金を贈りました。

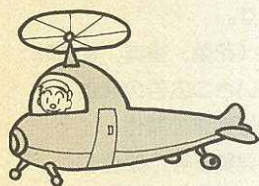
救援金は、六月十五日、吉田通生議会運営委員会委員長が島原市を訪ね、横田島原市議会議長に手渡しました。

また、他の地方議会に先がけ、市議会は、六月十日、被災者に対する市民の支援や国などに実効ある措置を要望する決議を行いました。

湾の調査等市行政分野での活用が見込まれます。

そこで、五年度前半の運輸開始を目標に、今後、ヘリポートの建設、機体購入、操縦士の訓練等の準備を進めたいと考えています。

なお、ヘリポートの建設予定地は、北九州空港内とするので内諾を得ています。



抜本的な人口対策を



議員 人口が減少している本市にとって、人口対策は緊急の課題です。

その対策の一環として、テックノパークや内陸型団地の整備、住宅政策五カ年計画の策定、Uターン事業、都心・副都心整備事業等が打ち出されていますが、それぞれの施策が有機的に機能していかないように思われます。

専門的なプロジェクトを設ける等抜本的な取り組みが必要

パスポート取得がもつすぐ便利に！

市民要望の高かった、旅券発給常設事務所の市内設置が今秋にも実現される見通しになりました。

常設事務所の市内への設置は、これまで市議会でも取り上げられ、この六月定例会において、その見通しが明らかにされました。

要と思いがいかですか。

市長 人口の減少が続いていますが、減少率は鈍化し社会流出も落ち着きが出ています。

これは、企業誘致、雇用の場の確保や産業構造の転換などに取り組んできた成果と思っております。

また、学術・研究都市の整備や優れた住宅や宅地の供給などハード面の施策の推進に加え、住環境の良さをPRなどソフト部門についても新しく取り組んでいく考えです。

人口対策を総合的に進めるため、全庁的な組織を設置するなど、その推進に力を入れていきたいと思っております。

行政区の見直しを

議員 昨年の国勢調査によると、人口の最も多い八幡西区は約二十五万人、最少の戸畑区では七万人と行政区の間に人口の不均衡が目立ちます。

区としての機能を維持し、きめ細かな行政サービスを提供するためには、区格差是正が必要です。

そこで、再来年の市制三十周年に向けて、分区又は区の再編成を検討してはいかかですか。

市長 これまで、区の人口が三十万人に達しないと分区はしない、との方針をとってきました。

名誉市民条例を制定しては

制定しては

議員 本市には、市長が表彰する市民表彰制度はありますが、恒久的な制度としての名誉市民制度がありません。

そこで、平成五年二月の市制三十周年記念に向けて名誉市民条例を制定し、本市の発展等に貢献した市民が深く尊敬し感謝



するに値する人に、名誉市民の称号を贈り栄誉をたたえてはいかかですか。

市長 名誉市民制度は、他の公共団体ではおむね条例で定めています。

そこで、議会のご意見を伺いながら、条例の制定を検討していきたいと思っております。

大規模流通センターの建設を

建設を

議員 本市経済の活性化を図るためには、九州の玄関口としての地理的優位性を生かした物流基地等の建設が急が

また、高規格救急車は、順次増やしていく必要があると思いがいかかですか。

消防局長 救急救命士は、器具を取り扱って、①電気ショックを与えて正常な心臓の働きにさせる②点滴③肺に酸素を送り込む、高度な救急救命処理ができる、新たな国家資格者です。

そこで、救急隊十六隊のうち一隊に高規格救急車及び救急救命士を配置し、四年三月末頃から運用を開始する考えです。

救急救命士の業務内容は

議員 市は、本年度から高規格救急車を導入し、救急救命士を配置することですが、どのような医療行為を行うのですか。

市長 本年度から高規格救急車を導入し、救急救命士を配置することですが、どのような医療行為を行うのですか。

れます。

そこで、九州一円の全物資が集散する大規模物流基地を整備してはいかかですか。

市長 本市は、九州の玄関口で広島や山口に近く、また、白野江人工島や新空港、東九州自動車道の建設計画などを考えると、大規模流通センターの大候補地であり、その整備は必要と思っております。

大規模流通センターは、時間をかけ長期的に取り組むプロジェクトであり、全国的な視野に立った構想が必要です。

これらの点を勘案して、今年度調査に着手したいと思っております。

なお、今年の秋頃までには、すべての救急隊に心電図や血圧の観測器具などを積載し、データを医療機関に電送する体制を整えていく考えです。

響灘の開発構想は

議員 トヨタ自動車の宮田町進出等本市周辺には、自動車企業の立地が進んでいます。

そこで、響灘の港湾施設整備に関連し、車の積み出し港を整備することにも、自動車の生産拡大に伴う廃車処理問題を解決するため同地区に自動車リサイクル団地などの自動車物流基地を整備し

てはいかかですか。

市長 響灘地区は、現在進めている埋め立ての完了後に、港湾計画の中で、大水深の港を整備することになっています。

また、響灘開発については、本年度末の構想策定を目標に、元年度から、調査、研究を行ってきましましたが、その中間とりまとめが出されました。

この中では、土地利用の方向として、一つは、東アジアの経済圏の結節点という特徴を生かし、例えば、自動車関連や航空宇宙産業等を対象とした大水深の港を備えた「東アジアにひらく工業コンプレックスゾーン」とする案、二つには、近年、地球環境問題への関心が高まっていることから、「地球環境の再生を目指すリサイクルセンター」構想、の二つの案が示されています。

これらは、今後の響灘開発について議論を深める材料の一つにさせていただければと思います。



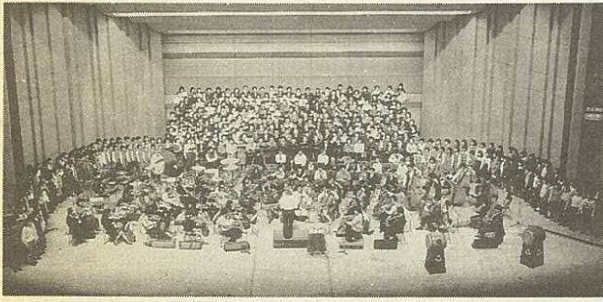
文化・スポーツ振興基金 の事業内容は

議員 文化振興基金及びスポーツ振興基金の創設が提案されていますが、どのような事業を行うのですか。

教育長 文化振興基金事業としては、市民の自主的な芸術・文化活動等を奨励する事業や市自らが行う地域文化を創造する事業、人材の育成等のための表彰や奨学の事業などを計画しています。

一方、市民スポーツの普及と振興を図るため、スポーツ振興基金を創設することになっています。

例えば、国際的・全国的なスポーツ大会を誘致し、市民



のスポーツ意欲や技術の向上を図るなど、この基金の活用により、生涯スポーツの推進に努めていきたいと思えます。今後、文化、スポーツのより一層の振興を図るため、両基金の有効、適切な活用や基金の拡充に努める考えです。

市街化調整区域の 見直しを



議員 休耕した農地を開発し宅地化を促進することは、農業の救済や経済浮揚、人口対策等に大変有効と思われるが、農地の大半は市街化調整区域に属しているため、開発が制限されています。そこで、市街化調整区域の区域区分の見直しを行ってはいかがですか。

都市計画局長 市街化区域及び市街化調整区域の区域区分、いわゆる線引きは、無秩序な市街化を防止し計画的な市街化を図るための制度です。本市の人口動向や土地利用の現況からみて、現時点、市街化区域の大幅拡大は困難です。しかし、土地区画整理事業など面的、計画的かつ優良な開発が確実な区域は、極力市街化区域に編入できるように

努力したいと考えています。なお、市街化調整区域内でも、宅地開発の場合は20ha以上、流通施設や大学等は5ha以上、先端技術産業や研究所等の施設については5ha未満でも一定の要件を満たせば都市計画法上開発の道が開かれています。地元の意向がまとまれば市としても対応していきたいと思えます。

情報ネットワークの 中核施設として

▼総合女性センター▲

議員 女性の社会参加を促進するため、市女性プランの中に総合女性センターの設置が掲げられています。この早期実現が望まれますが、センターの機能や設置場所をどのように考えているのですか。

市民局長 総合女性センターは、女性問題を解決するた

めの広範な活動を総合的に行い、また、勤労婦人センターをはじめ市内の女性関係施設のネットワークの中核として



各施設の機能を支援する施設です。

具体的には、女性問題に関する情報や生活情報、就職情報、ボランティア情報等の収集、提供を行います。

また、各種市民団体の交流・活動の場の提供や総合相談窓口としての活動等も行うこととしています。

なお、設置場所については交通の便利な市の中央部というところで、小倉北区・大手町ビル建設計画の中で、検討、協議を進めています。

洞海湾地域の 土地利用は

議員 洞海湾地域は、近年の産業構造の変化により、遊休地等が発生していますが、スペースワールドのような大規模な土地利用転換も始まっており、今後の開発に期待が寄せられています。

市も、この地域の将来の開発方向を探るため、整備構想の策定作業を進めていますが、どのような土地利用が望ましいと考えていますか。

都市計画局長 洞海湾地域は、ルネッサンス構想において、都市型レジャーや住宅等のコンプレックスゾーンとして位置づけられています。

将来の構想については、地域の特性や周辺の状況に応じた土地利用を考えており、遊休地の活用例として、枝光・東田地区は商業・業務・レジャー系、若松・藤ノ木地区は住居系、本城地区は新たな産業系の機能の導入などがあげられます。また、築地や二島地区は、既存の産業を生かしながら再整備を図ることも考えています。

これらの方針の



議会運営委員会

この委員会は、円滑な議会運営を図っていくために設置された機関で、市議会の各会派に所属する十人の委員で構成されています。

委員会では、議会の運営や議長との諮問に関する事項などを調査し、また、各会派の連絡協調に関し協議を行うなど、市議会運営上、重要な役割を果たしています。

もとに、事業手法等についても引き続き研究していきたいと思えます。

観光客の滞在化を図っては



携が必要と考えます
がいかがですか。

なお、昨年夏・秋
の修学旅行生等市外
からの観光客が百四
十六万人にのぼりな
がら宿泊客はわずか
三十二万人にとどま
っています。

宿泊施設整備に対
する市の考えをお聞
かせください。

市長 宿泊施設の
整備は民間主導で、
との方針のもとに融
資制度も設け、その
促進に努めてきたと
ころです。民間での
気運が出てこない以
上、公的機関で対応しなけれ
ばなりません。いずれにしろ
検討すべき時期に來たと思っ
ています。

議員 スペースワールドは、
開業以来一年間で二百万人も
の観光客を集めました。本
市にどのような効果をもたら
したのですか。

また、市として今後これら
の観光客を受け入れ、波及効
果を高めていくためにも、観
光地の整備や他の地区との連

経済局長 昨年六月から十
一月の間、市外からの観光客
がもたらした観光消費は九十
四億円で、前年に比べ六十九
億円増加しており、経済波及

ご存知ですか？ 点字・声の市議会だより

目の不自由な方（視覚障害者
一・二級）を対象に、市議会だよりの
点字版と録音版を発行しています。
ご家族など利用希望の方がいま
したら、市議会事務局調査課（五五八
二一六三三）までご連絡ください。



効果は百四十億円と推計して
います。これらはスペースワ
ールドの開業によるもので、
観光や経済活性化に対するス
ペースワールド効果は大きい
と考えています。

なお、今後の課題は、スベ
ースワールドを訪れた観光客
を市内の他の観光地へ周遊さ
せ、市内での滞在化を図るこ
とです。

このため、市内の観光施設
やアクセス道路、駐車場など
を計画的に整備していくこと
もに、スペースワールドを核
とした市内の多様な観光ルー
トを開発していく考えです。

路面電車存廃に対する 市の考えは



議員 小倉都心部の一方通
行規制解除に関連し、路面電
車の存廃問題が市民の間でも
大きな議論となつていますが、
市の考えをお聞かせください。

都市計画局長 現在、北九
州市都市圏交通体系整備推進
協議会において、精力的に検
討を行っており、近くその取
りまとめが行われるものと期
待しています。

検討に際しては、環境問題、
交通弱者対策、当事者である

交通事業者の考え方、円滑な
自動車交通処理の確保、小倉
都心部の幹線一方通行規制、
廃止した場合の代替交通機関
の問題など、多くの視点から
市全体を含めた総合的な判断
が必要です。

増設の見通しは

▼夜間・休日急患センター▲

議員 昨年、市保健医療総
合検討委員会から、「夜間・
休日急患センターの増設」が
提言され、既に六カ月が経過
しています。

センターの増設は、どのよ
うになっているのですか。

保健局長 現在、センター
の増設に向け、全力で取り組
んでいます。特に深夜帯に
勤務する医師の確保が大変難
しい状況です。

今後とも、関係者の協力を
得ながら増設実現のための条
件整備に努めたいと思います。

なお、センターの設置場所
については、「できれば、市
立八幡病院の近くに」や「全
市的な医療需要などを考慮し
たうえ、現在のセンターの立
地やサブセンターの存廃など
を含め全体を見渡した適正配
置を検討すべきである」との
答申の主旨を踏まえ、検討を
進めていく考えです。

民生保健委員会

この委員会は、十人の委
員で構成され、社会福祉や
社会保障を担当する民生局
保健予防や公衆衛生等を担
当する保健局、消防局及び
病院局を所管しています。

最近の主な活動として、
国民健康保険料や市立病院
の使用料の改正に関する議
案、福祉の充実に関する請
願などの審査を行いました。
また、総合リハビリテー

委員会 すぽっと



ションシステムについての
研究や寝たきり0運動、シ
ルバー人材センターの事業
実施状況等について調査・
研究を行いました。

環境教育委員会

この委員会は、十一人の
委員で構成され、廃棄物の
処理、公害対策などを担当
する環境局、北九州大学及
び教育委員会を所管してい
ます。

最近の主な活動として、
環境関係では、廃棄物の減
量化・適正処理等への対応
や本市の環境国際協力のあ
り方などを調査、研究しま
した。

また、教育関係では、公
民館の設置に関する議案審
査や文化・スポーツ振興の
ための総合的施策について
も調査・研究を行いました。



予算特別委員会の審査から



6月14日に設置された予算特別委員会は、三つの分科会に分かれて、審査を行いました。その中から、いくつかをとりあげました。

国際宇宙大学夏季講座の準備状況は

委員 国際宇宙大学夏季講座が、約三十カ国の第一線級の宇宙に関する研究者を迎え、来年六月下旬から約十週間にわたり、北九州国際会議場で開催されます。

この講座を成功させ、本市の将来に生かしていくために、どのように考えていますか。

当局 夏季講座の開催に向け、既に、東京と北九州市に委員会が設置され、組織的な受け入れ体制が整いました。今後は、会場設営や各種イベントなどを工夫し、北九州市らしさを出していきたいと思っています。

また、来年は国際宇宙年でもあり、これに関連したイベントも計画しています。なお、この講座の開催によって、①世界中の宇宙関係者との交流、②九州における航空宇宙産業の振興、③本市のイメージアップ、などが図ら

れると考えています。また、これを機に国際宇宙大学の常設キャンパスの誘致についても検討していきたいと思っています。

この講座は、日本で初の開催であり、是非将来に生かせるものになりたいと思います。

委員 東九州地域は、福岡を中心とした西九州に比べて経済発展に大きな遅れがみられます。

東九州地域の活性化に向けて

委員 東九州地域は、福岡を中心とした西九州に比べて経済発展に大きな遅れがみられます。

本年三月、二十一世紀の東九州を拓くシンポジウムが開かれ、同地域の活性化に向けて新たな一歩を踏み出しました。今後、市としてどのように対応していくのですか。

当局 先般、通産省の提唱によりシンポジウムが開催され、東九州の活性化のため、北九州市から大分・宮崎・鹿児島を結ぶ東九州軸機構の設立の気運が出てきました。また、通産省は、この地域

の振興計画を策定するための予算を決定しています。本市も是非参加し、取り組んでいきたいと思っています。

建設基準を見直しては

▼年長者いこいの家

委員 数多くの年長者から、いこいの家建設の要望が出されていますが、公園面積や対象世帯数、建築面積など建設条件に制約があるため、十分な建設が進んでいません。基準の見直しをすべきではありませんか。

当局 年長者いこいの家については、地域間における配置の不均衡、建築面積などの問題がでています。今年度中に建設基準を見直したいと考えています。

市民一体の運動を

▼花咲く街かどづくり

委員 緑化フェア開催を契機に、本年度、花咲く街かどづくり事業がスタートします。市民と行政が一体となってこの運動の輪を広げ、継続して取り組む必要があると思いますが、いかがですか。

当局 この事業は、市民の協力が是非必要です。現在、市民団体に推進組織の結成を呼びかけており、既に二十数団体の申し込みがありました。本年度は、緑化フェアに向けて花の植え付けや手入れをお願いしています。今後も、市民の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っています。

地域バランスのとれた整備を

▼コミュニティ施設

委員 公民館や年長者いこいの家などコミュニティ施設の設置状況をみると、各区の間にバラつきがみられます。文化、福祉施設などを建設する際、複合的な多目的ホールを併設するなどの工夫により、均衡のとれた施設整備を行う必要があると思いますが、いかがですか。

国道の拡幅整備を

委員 国道322号線

00号線は、通行車両も多く、常時交通混雑が見られます。そこで、交通混雑解消に向けた整備の状況や今後の見通しについてお尋ねします。

当局 322号線については、本市の管理区間十六kmのうち、市丸・金辺トンネル間が未整備です。このうち市丸・三菱マテリアル間は、二車線の整備を行っており、平成四年春に暫定供用を行う考えです。また、残りの区間も本年度から用地買収に取り組み予定です。

一方、200号線については、曲里交差点・プリンスホテル間の用地買収が本年度中に完了する見込みです。また、筒井・曲里交差点間は、黒崎バイパスのランプ設置と併せて拡幅整備が計画されており、本年度から事業に着手していきます。さらに、交通渋滞の激しい上上津役・小嶺交差点間についても、既に拡幅事業が進められています。その他の区間についても、引き続き建設省に要望していきたいと思っています。

整備に向け、プロジェクトチームを設けて早急に検討する考えはありませんか。

当局 コミュニティ施設は、教育関係や民生関係等、それぞれ行政目的に沿って整備が行われてきました。これらの整備に当たっては、まず地域性を重視することが必要と考えています。施設の対象地域の範囲や市全体の配置バランス等は、検討の際のポイントになると思います。コミュニティ施設のあり方については、今後検討していきたいと思っています。

以上の質疑のほか、最終日の本会議では、当初予算案等に対して、「大型プロジェクトの推進等に片寄った予算で、市民の願いに添えていない。」またこれに対し、「市の活性化や高齢化社会対策などに積極的に取り組んでおり高く評価する。」と、反対、賛成の立場から討論が行われました。

指導の徹底を

▼中高層建築物等

トラブル防止

委員 中高層建築物等に関する指導要綱では、施主は建築の際近隣住民に事前説明が義務づけられていますが、十分徹底されていないように思われます。

また、ワンルームマンションの中には、駐車場の設置義務などを免れようと、悪質な建築行為がみられます。